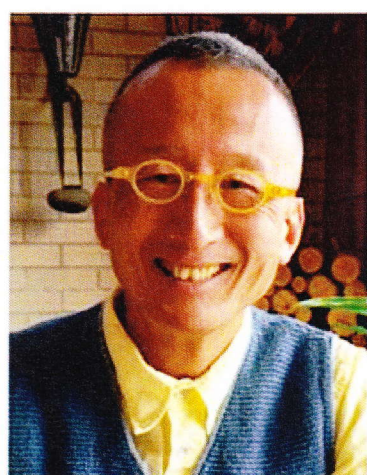




講演 13:40 ~ 14:40

写真家

今森 光彦 さん

書籍販売と
著者サイン会
16:00より

「里山という身近な自然」

〔プロフィール〕1954年、滋賀県生まれ。写真家。琵琶湖をのぞむ田園風景の中にアトリエを構え活動する。自然と人との関わりを「里山」という空間概念で追い続ける。一方、熱帯雨林から砂漠まで、地球上の辺境地の取材をつづけている。また、近年は、自然のかたちをハサミひとつで鮮やかに切り出すペーパーカット作家としても知られ、その作品は、全国の美術館などを巡回している。

写真集に「里山物語」（新潮社）、「湖辺」（世界文化社）、「世界昆虫記」（福音館書店）、写真文集に「雨木の国」（世界文化社）、「里山を歩こう」（岩波書店）、写真絵本に「神様の階段」（誠成社）など多くの著書がある。

第20回木村伊兵衛写真賞、第28回土門拳賞、第48回毎日出版文化賞、第56回小学館児童出版文化賞、第42回産経児童出版文化賞大賞など数多くの賞を受賞。

パネルディスカッション 14:50 ~ 15:50

「次世代に伝えたい象潟の景観」

今森 光彦（写真家）

加藤 竜悦（鳥海山生物研究グループ マンサク会）

齋藤 一樹（にかほ市象潟郷土資料館 館長）

岸本 誠司（鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会 主任研究員／民俗学）

「農村景観」をテーマに、象潟の景観をつくった大地の歴史や水田、九十九島で繰り広げられてきた人と自然の関わりについて語り合い、象潟の農村景観の現代的な意味を問います。

日時

2018
9月8日（土）
13:30~16:00

会場

にかほ市象潟公会堂
（秋田県にかほ市象潟町字三丁目塩越163番地）

定員

先着 100名

鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会事務局まで、お電話にてお申し込みください。（TEL：0184-62-9777）

【共催】鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会・にかほ市

【問い合わせ・申し込み】鳥海山・飛鳥ジオパーク協議会事務局：秋田県にかほ市象潟町字大塩越36-1 TEL: 0184-62-9777